

平成 26 年度 総合問題 (第二部 商経学科) 解答例

問 1 (70 点)

【採点のポイント】

- ・資料 1 から各国の制度の違いと、それに対する筆者の評価を読み取って、そのポイントを的確に記述できていること。

【解答例】

シンガポールの制度は、時間帯ごとに複雑な料金体系にしており、週末しか運転しない人に対しては優遇措置を設けている。また、プリペイドカードによって、自分が下した決断のコストが瞬時にあきらかになる仕組みになっている。こうした制度の方がロンドンやメキシコの制度より優れていると筆者が評価するのは、第 1 に、クルマを運転するかどうかという判断を個人に委ねている点である。メキシコの制度のように、ナンバープレートの末尾の違いで特定の日に運転できる人をあらかじめ決めて制限する方法では、クルマの運転を個人が判断することはできない。第 2 に、クルマを運転するコストを個人が判断できるようにし、それによって人々がクルマの運転から得られるメリットとクルマの運転がほかの人に与えるコストのバランスをうまくとれるように工夫されている点である。ロンドンの制度のように、終日一律料金では交通量を減少させることはできても、メリットとコストのバランスを適切に図ることはできない。

(421)

問 2 (70 点)

【採点のポイント】

- ・アメリカ人の考え方に言及していること。
- ・是非を明確に論じていること。

【解答例】

私は、ロードプライシング制度に賛成である。たしかに、資料 1 で紹介されているアメリカ人のように、ラッシュアワー時の通行に余計なお金を払うくらいなら、「全員が渋滞の中で苦しむことを選ぶ」という考え方も理解できないわけではない。しかし、そうした場合の渋滞の解決には、道路の拡張、バイパスの新設などが必要になるだろう。これは、国土が狭く、道路建設に必要な財政資金も不足している国では難しいだろう。そういった国で渋滞を解決するには、やはりシンガポールのようなロードプライシング制度が必要だと考える。

問3 (10点)

【解答例】

It is (difficult) to estimate the cost of (driving) a car.

問4 (10点)

【解答例】

僕らの乗ったタクシーは交通渋滞に巻き込まれた。

問5 (10点)

【解答】

5メートル

*考え方 (答えだけでも可)

秒速は, $18 \times 1000 \div 3600 = 5$ (m/秒)

問6 (10点)

【解答】

1.5秒

*考え方 (答えだけでも可)

車1台進むのは, $9 \div 6 = 1.5$ (秒)

問7 (20点)

【解答】

8秒後

*考え方 (答えだけでも可)

一人が進む秒数は, $0.8 \div 1 = 0.8$ (秒)

A君が出発するのは合図から, $0.8 \times 10 = 8$ (秒後)